

■内藤多仲 建築構造技術者。『耐震構造の父』と評され、東京タワーを代表に『塔博士』とも呼ばれる。

ないとうたちゅう

帝国大学始・1886＝ 山梨県中巨摩郡榑村で、農業営む内藤小四郎・とみの長男に生まれる。

帝国憲法発布1889＝ 3歳：

家は貧しかったが、

近くの尋常小学校に入り、

日清戦争始・1894＝ 8歳：

日清戦争終・1895＝ 9歳：

小笠原尋常高等小学校に進み、成績が良かったことから、

旧制甲府中学に進学し、

第一高等学校をに入学。夏目漱石から英語を学ぶなどして、

日露戦争始・1904＝18歳：

日露戦争終・1905＝19歳：

満鉄発足・1906＝20歳：卒業し、\_東京帝国大学工科大学造船学科に入学するが、最初の授業で、教授から日露戦争後造船不況であると論されるや、工科大学内で唯一1名欠員のあった建築学科に転向し、佐野利器に師事。

韓国併合・1910＝24歳：東京帝国大学工科大学建築学科を卒業し、大学院に進む。

明治天皇没・1912＝26歳：\_大学院も修了し、早稲田大学建築学科教授に就任。

大正政変・1913＝27歳：

第一次大戦始1914＝28歳：斎藤久考設計芝浦製作所鋳物の構造を担当、

ロシア革命・1917＝31歳：\_アメリカへ留学。旅行用トランクの仕切板を外して積んで壊れてしまったり船の構造から着想を得て、

本格政党内閣1918＝32歳：『建築構造学』出版。\_帰国後、耐震壁による耐震構造理論を考案し、

大暴落・1920＝34歳：大学令が施行され、建築学科は、理工学部建築学科となる。

原敬首相暗殺1921＝35歳：(岡田信一郎)大阪高島屋百貨店、(渡辺節)大阪商船神戸支店、

水平社結成・1922＝36歳：\*『架構建築耐震構造論』にまとめて発表。以後、この耐震構造理論を実際の建築の構造設計に取入れ、

関東大震災・1923＝37歳：\_耐震壁付き鉄骨鉄筋コンクリート造の(渡辺節)日本興業銀行本店が竣工直後に大震災が起こるが、丸の内のアメリカ流の鉄骨造ビルが大きな被害を受けたのと同対照的に、興銀が無事だったことで理論が実証され、一躍脚光を浴びる。建設工事中の(岡田信一郎)歌舞伎座も、内部を焼失するも躯体は無事。

護憲三派圧勝1924＝38歳：(佐藤功一)実業之日本社ビル。\_『架構建築耐震構造論』で工学博士号を取得、出版もされ、

治安維持法・1925＝39歳：(木子七郎)\*NHK愛宕山放送局鉄塔。おぼけ煙突で知られた東京電灯千住火力発電所など、塔博士の萌芽。

円本時代始・1926＝40歳：(佐藤功一)早稲田大学大隈記念講堂、

金融恐慌・1927＝41歳：(今井兼次)NHK新郷放送所鉄塔。東京地下鉄道上野駅。

海軍軍縮条約1930＝44歳：(岡田信一郎)明治生命館、

満州事変・1931＝45歳：

国際連盟脱退1933＝47歳：(ヴォーリス)大丸百貨店心齋橋店、

この頃、\_早大に、専門部工科を設置することを思い立ち、田中徳積総長に献策するも埒が明かず、東京地下鉄社長早川徳次の紹介で、{実業之日本}社長増田義一から、綿密な対処と応援を受けて、(渡辺仁)大阪放送会館本館。

二二六事件・1936＝50歳：

日中戦争始・1937＝51歳：

健保+総動員 1938＝52歳：日本製鉄輪西製鉄所第四火力発電所、日本航空格納庫。溶接学会会長。

第二次大戦始1939＝53歳：\_早稲田大学専門部工科が開設され、科長となり、

大政翼賛会・1940＝54歳：

日米開戦・1941＝55歳：\_新校舎も竣工した。以後2年、日本建築学会会長、

年金+総武装 1944＝58歳：\_早稲田大学理工学部長、

敗戦・1945＝59歳：\_以後2年、再び、日本建築学会会長、

三大事件・1949＝63歳：

独立回復・1951＝65歳：

テレビ放送始・1953＝67歳：(山田守)旧東京厚生年金病院、

自衛隊発足・1954＝68歳：日本学術会議会員。(村野藤吾)世界平和記念聖堂・神戸新聞会館、(今井兼次)根津美術館、\*名古屋テレビ塔はのち国の登録有形文化財、

国連加盟・1956＝70歳：\_2代目通天閣・別府タワーいづれものち国の登録有形文化財、

なべ底不況・1957＝71歳：早稲田大学教授を退任し、名誉教授。自ら設計の山梨県民会館・早稲田大学内藤博士記念耐震構造研究館。

\_さっぽろテレビ塔が竣工したところに、産経新聞社長から東京タワーの設計依頼があり、

インスタマン・1958＝72歳：\_世界一の東京タワーが完成。アメリカのNBCが建設過程をドキュメント番組にして放送して、国際的に注目され、また、多数の鉄骨構造の電波塔・観光塔の設計を手がけたことで、『塔博士』と呼ばれる。

安保闘争・1960＝74歳：日本学士院会員

全国総合計画1962＝76歳：(田辺泰)總持寺大祖堂、(村野藤吾)早稲田大学文学部校舎。\_文化功労者、

TV宇宙中継始1963＝77歳：自ら設計山梨県庁舎、(村野藤吾)日生劇場。\_博多ポートタワー、

東京リビ'ッパ 1964＝78歳：(山田守)東海大学校舎、\*勲二等旭日重光章。自ら意匠まで設計の新宿区役所を最後に、

大学紛争始・1965＝79歳：「日本の耐震建築とともに」、

いざなぎ景気1966＝80歳：「建築と人生」、

美濃部都知事1967＝81歳：「内藤多仲博士の業績」が刊行され、

大阪万博・1970＝84歳：第一国立病院で\_没した。

上山明博「技術者という生き方」、インターネット。藤井茂「増田義一伝」で追補、